

## 塞栓術中に Coil 塊が逸脱した内頸動脈瘤の 2 例

赤路 和則<sup>1)</sup> 富尾 亮介<sup>1)</sup> 植杉 剛<sup>2)</sup>

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳神経外科

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳卒中部門

[目的]脳動脈瘤塞栓術中に coil 塊が逸脱した 2 症例を経験したので報告する。〈BR〉

[症例 1]59 歳、男性。最大径 4.2mm、neck 径 3.0mm の左内頸動脈先端瘤。8Fr Optimo guiding catheter を左内頸動脈へ誘導。ScepterXC 4mm x 11mm を用いた balloon assist technique。Echelon14 を瘤内へ誘導。Prime Frame 3.5mm x 6cm で framing。Scepter を inflationしながら SMART coil wave extrasoft 2.5mm x 4cm を挿入している途中、coil 塊が内頸動脈へ逸脱。Snare 4mm で coil を回収。新たに Hyperform 7mm x 7mm を用いた balloon assist technique で塞栓術継続。neck remnant で終了。術後経過は特に問題なかった。〈BR〉

[症例 2]61 歳、女性。くも膜下出血で発症。最大径 2.9mm、neck 径 2.1mm の左内頸動脈後交通動脈分岐部瘤。8Fr Optimo guiding catheter を左内頸動脈へ誘導。SHOURYU 4mm x 15mm を用いた balloon assist technique。先端を S 状に shaping した Echelon10 を瘤内へ誘導。Micrus Frame S 3mm x 5.4cm で framing。その後、Axium Prime Helix 2mm x 2cm、1.5mm x 2cm を追加した。Echelon10 の抜去時、Chikai black14 を先端まで誘導して抜去したが、coil 塊が内頸動脈へ逸脱、中大脳動脈へ移動。Aspirin200mg、Clopidogrel300mg、Edaravone 投与、Snare 4mm で coil3 個すべて回収。Neuroform Atlas stent 4.5mm x 30mm を用いて stent assist technique で塞栓術継続。neck remnant で終了。術後経過は特に問題なかった。〈BR〉

[結語]filling coil 挿入時や microcatheter 抜去時、coil 塊が逸脱する危険性も十分に考える必要がある。